

令和8年度 学校経営計画書（定時制）

最終案

学校番号	54	学校名	県立榛原高等学校	校長名	岡野 哲也
------	----	-----	----------	-----	-------

1 スクール・ミッション（学校の使命）

地域に根差した定時制高校教育の伝統校として、地元の企業や人材と連携し、個に応じた教育を通して、時代の変化に対応できる人材の育成を目指す。
--

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー（教育の方針）

観点	Graduation（卒業） 次のことを育成します	Curriculum（教育課程） 次の教育を実践します	Admission（入学） 次のような生徒の入学を期待します
学力・進路	実社会で力を発揮して活躍するための基礎学力とそれを活用する力	個に応じた細やかな教科指導や ICT を活用した学びの支援	高校卒業を目指して学ぶ意欲をもつ
特活・総合	幅広い視野をもち、主体的にコミュニケーションを取ろうとする態度	学年を超えた関わり合い、自己の在り方生き方を考える探究活動	地域や社会に関心をもち、課題を解決しようとする
就業	地域社会に即戦力として貢献できる人材	地域企業・人材と連携した活動を通して適切な勤労観を育てる教育	仕事と学業を両立しようとする意志がある
人格・理念	自他を尊重する心をもち、それぞれに自己実現を目指す姿勢	個性・多様性を尊重し、一人ひとりに寄り添った生徒指導・支援	他者を理解し、思いやる姿勢をもつ

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 学び…基礎学力を定着させつつ、個に応じた教科指導と、主体的に取り組む探究活動を行う。
- イ 進路…一人ひとりの進路希望実現のため、地元と連携した進路指導と勤労観の育成を推進する。
- ウ 生活…基本的な生活習慣を身に付け、諸活動を通じて自他を尊重する心をもった生徒を育成する。
- エ 安全…心身ともに安定した生活を支援し、安心安全な環境づくりを教職員・生徒ともに行う。
- オ 職員…授業・業務改善等の資質向上を図るとともに、教職員のワーク・ライフ・バランスを改善する。
- カ 広報…学校関係者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
ア	基礎学力を定着させつつ、個に応じた教科指導と、主体的に取り組む探究活動を行う	○授業及び定期基礎力テストにより基礎学力の定着に向けた指導を行う。 ○生徒の実態・多様性に即しつつ、授業内容が理解できるよう授業改善・工夫を行う。 ○協働的な学びや生徒の端末機器を活用した授業を実践する。 ○総合的な探究の時間において、主体的・協働的な学びを推進する。 ○新聞等を含め、読書することを推奨する。	○基礎力テスト合格者 80%以上 ○授業満足度 85%以上 ○生徒のニーズに合った日本語支援を行っている。 ○端末機器を効果的に活用した学習等をする生徒 90%以上 ○総合的な探究の時間において主体的に取り組む生徒 85%以上 ○授業外で月に数回程度以上活字を読む生徒 70%以上	教務課 各教科 各学年

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
イ	一人ひとりの進路希望実現のため、地元と連携した進路指導と勤労観の育成を推進する	○LHRや進路ガイダンスによる体系的な進路指導と適時の個別指導を行う。 ○地元企業と連携を図り、進路開拓や就労支援の充実を図る。 ○進学希望者のための進路ガイダンスを充実させる。	○進路指導満足度 90%以上 ○進路実現に向けた保護者面談の実施 2回以上 ○卒業後の進路決定者 100% ○インターンシップの生徒満足度 80%以上 ○進路講演会の生徒満足度 80%以上 ○進学に関する情報提供、学習支援を個別に行っている。	進路課 生徒課 各学年
ウ	基本的な生活習慣を身に付け、諸活動を通じて自他を尊重する心をもった生徒を育成する	○社会でより良く生きるためのモラルやマナーの育成を、全ての教育活動において適切に指導する。 ○「時を守る」ことを適切に指導する。 ○欠席・遅刻・早退者に対する面談を、個々の事情に配慮しながら実施する。 ○登校時のあいさつ等、日常場面での指導を通し「礼を正す」ことを涵養する。 ○特別活動・行事等を通じて、共同性や親和的態度を育成する。	○月毎の規範意識目標を心掛けて生活している生徒 80%以上 ○重大交通事故 0件 ○期限を守っている生徒 90%以上 ○事前連絡のない欠席・遅刻者の数 1日平均2人以下 ○校内においてあいさつができていない生徒 90%以上 ○学校・生徒会行事に楽しく参加している生徒 90%以上	生徒課 教務課 各学年
エ	心身ともに安定した生活を支援し、安心安全な環境づくりを教職員・生徒ともに行う	○教職員・生徒が感染症予防等の健康・衛生管理を適切に行う。 ○体調管理や傷病時における治癒の重要性について、生徒・保護者への働きかけを徹底する。 ○食の大切さを学び、健康な生活を心掛ける指導を行う。 ○個々の生徒の悩みや困り感に即応し、外部機関と連携した教育相談、ケース会議等を適時に行う。 ○確実な情報共有と初期対応により問題行動、いじめ等を未然に防ぐ。	○教職員は生徒の健康・衛生管理を適切に行っていると思う生徒 90%以上 ○受診勧告書に対する治療状況報告 60%以上 ○朝食摂取率 80%以上 ○外部関係機関と必要な連携を行っている。 ○生徒情報交換会 週1回実施 ○いじめ、粗暴行為 0件	保健課 生徒課 各学年
オ	授業・業務改善等の資質向上を図るとともに、教職員のワーク・ライフ・バランスを改善する	○相互の授業見学を積極的に行う。 ○生徒の授業評価を活用し、授業改善を行う。 ○校外研修や全日制での研修への参加を推奨する。 ○業務の適正化を図り、ワーク・ライフ・バランスを実現する。	○相互の授業見学 年2回以上 ○授業評価アンケート結果 肯定的評価 平均80%以上 ○校外・全日制研修参加 年2回以上 ○授業の時間が楽しいと感じている教員の割合 90%以上 ○業務分担が適切であると思う教員 80%以上	教務課 各教科 管理職
カ	学校関係者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する	○外国人生徒支援制度等を活用し、支援の充実・改善を図る。 ○学校運営協議会（コミュニティスクール）を年4回実施し、効果的な協議の場とする。 ○地域・保護者に対する情報提供・広報を適時適切に実施する。	○外国人生徒・保護者との面談を計画的に実施している。 ○外国人生徒の日本語能力試験受験率 50% ○学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かしている。 ○ホームページの記事を月平均で10回以上投稿する。 ○定時制通信発行 年6回以上 ○学校説明会の参加者満足度 85%以上	生徒課 教務課 管理職